

★安全安心の学校方向性ニュース(生徒のみなさん・保護者のみなさま・地域のみなさまへ)

ようやく夏休みが近づいてきました。まずは、この不規則な状況の中、また暑い中頑張った生徒のみなさんに拍手を送ります。また、その生徒たちを様々な面でサポートくださった、保護者のみなさま・地域のみなさまそして先生方にも感謝申し上げます。

私は学級担任をしていた時に、何か問題事案が起こると、そのことを常にチャンスととらえていました。平穏な毎日で、学級内で本音をぶつけ合うこともない状況では、案外、クラスのつきあいはうわべの関係で終わったりもします。かたや、何事かもめ事があって、その解決をする中で、クラスが本音を出し合えるようになったケースが幾度もありました。まさに雨降って地固まるです。だから、関係した生徒・周りの生徒・教師・保護者が、その問題に対して正面から向き合い歩み寄れるところは歩み寄りながら皆が前向きに動き出せば、かえって問題のなかった時以上の仲間づくりにつながるケースが多いのです。「罪を憎んで人を憎まず」という言葉があります。誰でも一度や二度失敗することはあります。大切なのは、失敗した人は、その時にどうその失敗に向き合えるかだと思います。また、周りも失敗した人の変わろうとする姿にどう向き合えるかだと思います。それができたら、失敗が失敗でなくなります。最初に私が言った通り「ピンチはチャンス」です。

新型コロナウイルスも同じことだと感じています。たとえば、この校長だより、この新型コロナウイルスの騒動がなければ、たぶんここまで発行できなかったと思います。発行すべき理由があり、どうせ発行するなら中身を工夫したいと自分なりに考え、工夫して実施し結果としてたくさんの生徒のみなさん・保護者のみなさま・地域のみなさまそして教員の力を得て、ここまで進めてこられました。コロナのことで、感染症と向き合う正しいやり方も、日本中いや世界中にマナーやエチケットとして広がりました。「ピンチはチャンス」の心意気で乗り切ったこの一学期は、決して無駄ではなかったと私は思っています。

コロナとの戦いは、まだまだ続きます。今後も様々な面で、生徒のみなさんや保護者のみなさまには、ご不便やご迷惑をおかけすると思いますが、少しずつ歩み寄り、前向きに力を合わせて乗り切っていきましょう。



★西中プライド(生徒のみなさんに望むこと)

西中生の頑張りに拍手！！！！(女子ソフトテニス部観戦記)

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大で、部活動の大会もなかなか開催できませんでした。「このまま3年生が引退しなくてはならないのか」と、暑い日も寒い日もがんばってきた3年生の気持ちを考えると、ものすごく辛い思いだったのですが、どうにか部活ごとに試合ができるめどがついたようです。

そんな中で、先週土曜日。大会主催者の許可を得て、私は女子ソフトテニス部の試合の応援に行ってきました。その時の様子を実況したいと思います。

西中女子ソフトテニス部の3年生4名・2年生2名。そして、コーチ陣4名は、猛暑の加賀田中学校のテニスコートにいました。抽選のくじを引いたのは黄金の腕を持つ名将「児玉先生」。先生は、あろうことか優勝候補といわれる太子中学校との対戦のくじを引きました。「相手にとって不足はなし。」「いや、そこだけは避けてほしかった。」などという様々な思惑がある中、試合は始まりました。

最初は3年生ペア。相手は優勝候補だけあって貫禄十分。しかし、我が西中学校も全然負けていません。「松本先生」直伝の必殺のサーブを武器に戦いを挑みます。しかし、このサーブがものすごく難しい。何度かトライするのですが、フォルトの連続。応援している各部員の祈るような思いの中で、サーブが相手コートに入りました。すると、まさに魔球。ねずみ花火のように不規則にバウンドするボールに優勝候補の太子中学校も打ち返すことができませんでした。ここから西中学校の粘りのテニスが展開されます。ウインブルドンのセンターコートがここに乗り移ったかの如く、試合は緊迫の連続。Deuce(デュース)・Deuce(デュース)・Deuce(デュース)。手に汗握る展開となりました。あと一步のところまで行ったのですが、残念ながら競り負け、2組目のペアに交代です。するとこれまた、Deuce(デュース)・Deuce(デュース)・Deuce(デュース)の連続。試合はどちらに軍配が上がっても不思議ではない展開。しかし、勝負の神様は相手に微笑みました。西中学校の選手の額にも、優勝候補の太子中の選手の額にも大粒の汗。西中学校の選手の頑張りが見て取れる結果でした。3年生はこの試合をもって引退です。悔いなき戦いができて良かったです。最終組は2年生ペア。先輩の頑張りを引き継ぐ次の世代です。なんとこの2年生のペアは、ストレート勝ちの圧勝でした。先輩の築き上げてきたソフトテニス部の伝統が見事に引き継がれていました。

試合の様子は、生徒の顔が写らないように後ろ姿で写真に収めたのですが、背中にも大きく名前が……。個人情報保護の観点から、私のつたない実況での紹介だけであることをお許しください。

さて、本来はこの引退試合ともいべき大切な大会。保護者のみなさまも是が非でも応援に行きたかったことだと思います。しかし、残念ながらコロナの3密対策ということで、保護者の応援が認められませんでした。応援に行ったのが私ではなく保護者の方々なら、選手たちももっと大きな力を得たと思います。申し訳ございません。

他のクラブも同様の保護者の参加ができない大会規定になるようですが、「選手が試合を行う」ことを最優先にしていることをご理解ください。8月8日には男子ソフトテニス部・9日には男女バスケットボール部・9月になってからは陸上部の大会が予定されています。私も時間の許す限り応援に駆け付けたいと考えています。

●ボンジュール！！（おはようございます！！）

2・3年生のみなさんは、昨年度の1学期にフランスから本校に体験入学に来られたAさんを覚えていることでしょうか。この度、そのAさんのお母さんとご本人からお手紙が届きました。本来は、今年も体験入学に西中に来られる予定だったのですが、残念ながら今回のコロナ騒動で断念されました。このコロナの問題は、日本だけでなく、フランスでも同じような状況で、むこうでの様子が細かく書かれています。国際理解の教材ともいべきこのお手紙を紹介します。

西中学校2年生の皆さん、お元気ですか。

この夏は、コロナウイルスの影響で、日本に行けず、皆さんに会えなくてとても残念です。

日本も随分長い間学校が休みになったそうですが、フランスでも3月16日から6月22日まで、学校が休みになりました。

同じく、3月18日から5月11日までは自由に外出することも、禁止でした。

生活必需品の買い物、医者、一日1時間、家の周り1km以内でのジョギングや散歩、医療関係者の仕事のためには、証明書を持って外出、それ以外で家を出ることは禁止されました。

守らないと、初回は135ユーロ、二回目からは375ユーロ、悪質な場合は3750ユーロの罰金と刑務所に6ヶ月でした。

それでも守らない人がたくさんいたそうです。（1ユーロは130円ぐらいです）

レストランや映画館も全部しまっていました。

5月から少しずつ再開していたのですが、最近また増えてきているので、スーパーなど屋内の公共施設ではマスクの着用が義務になりました。

守らないと135ユーロの罰金です。

私の中学校は、外出禁止の間は毎日メールで宿題がたくさん出ました。とても大変でした。

6月22日から授業が再開だったのですが、週に2回3時間ずつ授業があっただけでした。

7月2日から8月31日まで夏休みです。

日本は8月7日まで授業があると聞きました。とても暑いでしょうから、熱中症に気をつけて、頑張ってください。

ワクチンができて、来年は皆さんに会えるといいのですが。

私が日本語を勉強しているグループで新聞を作りました。

読んでもらえると、嬉しいです。



●自主学習ノート

先日、1冊目のノートを提出してくれたBさんが、早くも2冊目を出してくれました。しかも今回は、本人の感想と保護者の方からの感想付きです。ここにご紹介します。

本人・・・

符号の計算がごちゃ混ぜになって難しかった。

落ち着いて問題をたくさん解くこと。

問題をしっかり読むことを頑張った。

今回は(受け身の)勉強だけだった。(調べ学習などが足りなかった。)

次は人種差別について調べ学習したいと思う。

数学の学習では、どこで間違っただのか線を引いて、あとからどこで間違っただのかわかるようにしたい！

保護者・・・

がんばりました。

間違えたところが、「なぜ間違えていたのか」が、後から見てもわかりやすくできると良いと思います。

Bさんへ・・・

学習の「自分なりの工夫」が見えて、うれしいですね。校長先生は実は数学の先生です。でも中学時代は(実は今も)ケアレスミスが多かったです。正の数・負の数の計算の符号は、四則計算を一つ一つ学んでいるときはできるのに、四則計算が混じるとごちゃごちゃになりますよね。頭の中の整理をして、整理したことをどこかにまとめてみて、後は問題へのチャレンジですね。困ったときは校長室に質問に来てくれてもいいですよ。

保護者の方へ・・・

お子さんの頑張りを認めていただき、ありがとうございます。やはり頑張ったことを保護者が認めて下さることが、何よりの励みになると思います。また、お子さんが学習の工夫をされていることも認めていただいていて、学習の向上にもつながると思います。引き続き支援をよろしくお願いします。

Bさんへの私からの手紙より

Bさんへ

2冊目の提出ありがとうございます。

ノートを見てやる気が伝わってきて、校長先生も負けてられないなって気になります。

ノートを見ていると、「永久凍土」の問題が出ていました。

ウィキペディアによると、

永久凍土(えいきゆうとうど、英語: permafrost)・・・2年間以上にわたり継続して温度 0°C 以下をとる地盤のことである。この用語の定義の上では、氷の存在ではなく温度条件で考える。とあります。

さて今この永久凍土が世界を騒がせています。例えば北極や南極には永久凍土の下に、大昔(数千年前から数百万年前というレベルの大昔です)からの生き物の死骸などが凍ったままの状態、永遠に出てくることなく保存されるはずでした。ところが、この温暖化によって、永久凍土が融けだしたのです。その結果、たとえば、マンモスゾウが丸ごと骨で発掘されたりしています。生物学上、今までわからなかったことが、この発見によってわかることもあるかもわかりません。

ニュースの記事では、

「ロシアで、1万年以上前の成体のマンモスの骨が発見された。シベリア北部の湖の浅瀬で地元の人々が見つけたもので、科学者らは頭蓋骨の一部、あばら、前脚を発掘した。一部の骨には柔組織が残っていた。発掘に関わった科学者は「残念ながら早々には全てを発掘できなかったが、今日できた分だけでも一般的な分析は可能だ。今後、年齢や古さを判断できるだろう」と語った。研究者らは、これらの骨は少なくとも紀元前8000年にさかのぼるとみる。地球温暖化が進む中、広大なシベリアでは複数のマンモスが発見されている。」と報道されています。

温暖化によって、遺物が発掘され、今まではわからなかったことが発見されるという良い点ばかりではありません。温暖化で永久凍土や氷が融けることで、Bさんのノートにあったように、永久凍土の上の建物がゆがんだり、モルジブなどの海拔の低い島国は、国土が海に沈む危機に瀕しています。また、永久凍土の下からは、氷で封印されていた病原体も出てくる可能性が指摘されています。

このように、「永久凍土」というキーワードから連想ゲーム的に新たなワードへ発展していくことができます。そこが学習の醍醐味と面白くなれば、中身が深まっていきやすくなります。今は、「パソコンで検索する」などという方法もあります。ぜひ挑戦してみてください。



© Can Stock Photo

●学校だより「保護者のみなさま・地域のみなさまの声より」第3弾

今回募集したテーマは「中学生の時期に身につけてほしい3つのこと」です。
早速2名ご回答くださいました。ありがとうございます。

- ①人としっかり向き合うこと
 - ②自分なりの勉強スタイル
 - ③いろいろな情報(本・ドラマ・好きな歌手)を通じて、考え方の幅を広げること
-
- ①折れない心(レジリエンス)
 - ②自分を表現する言語力
 - ③追及する力(情報が多き時代、何を求めるのか、本当はどうかなど追及していく事)

①人と向き合うこと。・・・友だちと向き合い。家族と向き合い。先生と向き合い。コミュニケーションのスキルを磨き、伝えたいことを心を込めて話し、相手の話をしっかりと受け止める。これができたら、素晴らしい未来が見えてきます。大切ですね。

②自分なりの勉強スタイル。・・・これも大切ですよ。 「自分なりの」という言葉に、主体的なという言葉が見えます。それがつかめると、きっと勉強が楽しく変わってくることでしょ。

③いろいろな情報(本・ドラマ・好きな歌手)を通じて、考え方の幅を広げること・・・情報の収集力が、運命を左右する可能性すらあります。そして、その情報をもたらすことで、考え方が幅広くなればいいですね。身近なところにもある情報をうまくとらえ、情報をいかせる人になってほしいですね。

①折れない心(レジリエンス)・・・気持ちを保ちつづけるということはとても大切なことですね。頑張っているもうまくいかない壁にあたったとき、心の中に迷いが生じたとき、誰かの言葉で傷ついたとき、様々な場面で人は持続することが困難に感じます。そこを乗り越えていける力、助けを求められる勇気、支えてくれる仲間。つけてほしいですね。

②自分を表現する言語力・・・言葉で表現することは、現代社会ではとても大切なことです。今年のテーマの「読むこと」も、実は「読むこと」を通して、もう一つのテーマである「表現すること」につなげたいのが実際のところですよ。

③追及する力(情報が多き時代、何を求めるのか、本当はどうかなど追及していく事・・・私自身もそうですが、情報の取捨選択や整理が重要だと実感しています。そのためにも情報に対する向き合い方が大事ですね。真実を見抜く目を育てたいものです。



●学校だより「保護者のみなさま・地域のみなさまの声より」第1弾

第1弾で募集したテーマは「中学生に読んで欲しい本」です。

1名ご回答くださいました。ありがとうございます。

「複合汚染」 有吉佐和子著 新潮社

当時大変売れた長編小説です。多くの人が環境問題を考えるきっかけになりました。

ウィキペディアによると、

本作品は環境汚染問題について社会に警鐘を鳴らすことを目的として書かれた。主な指摘は、

- [農業と化学肥料](#)使用が農製品と[生態系](#)に与える悪影響、及び[有機農業](#)、共栄作物利用の試みの紹介。
- [界面活性剤](#)を含む洗剤使用の人体及び生態系への悪影響。石鹼がより安全であること。
- 合成[保存料](#)、合成[着色料](#)など[食品添加物](#)使用の危険性。
- [自動車エンジン](#)の[排気ガス](#)に含まれる[窒素酸化物](#)の危険性。
- 上記の化学物質が[生体濃縮](#)で蓄積されていく過程。
- 化学肥料開発と[火薬](#)開発の並行性。化学合成技術の発達と戦争、軍需産業との連関。

である。すでに[水俣病](#)や[四日市ぜんそく](#)の被害などから、「[公害](#)」問題の深刻さは意識されていたが、個々の現象を単独に捉えるのではなく、自然環境の破壊という大きな問題系の中で関連づけて考えるべきであることを、やや扇情的だが平易な筆致で描き出したところに意義がある。

今や、環境問題は、一つだけの問題として存在するのではなく、様々な問題が絡み合っ、より複雑化しています。例えば3つの問題があつて、それが3つでおさまらず、互いに影響しあつて何倍にも問題が大きくなっているのです。あなたが大人になったときに、また、あなたの子どもや孫が大人になったときに、はたして地球はどうなっているのでしょうか。その予想のもとで、いま私たちにできることは何か。そのことを考えさせてくれるこの作品にぜひ挑戦してみましょう。高レベルで長編ですが、あなたの心に何かを残し行動を変えてくれるかもわかりません。トライしてみましょう！



★アラビアンナイト(千夜一夜物語)

どうしても、私たち夫婦は、ドバイより昔住んでいたアブダビびいきになるのですが、今回、アブダビにあるエミレーツパレスホテルに行きました。7つ星とか8つ星とも評される世界に名の知れたホテルです。

その豪華な内側は、あちこちに金が使われて入り、大きな時計はローレックス。大きな吹き抜けとピアノやバイオリンの生演奏。順番待ちになるほどの人気の金箔の入ったカプチーノ(ミーハーな我が家も飲みました。おいしかったです。)止まることは到底できないので、見るだけ見させていただきました。



